

かわさき区の宝物シート

宝物No.
31-2

たなかきゆうぐ
田中休愚

エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北～宮前・貝塚	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input checked="" type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物



泉田二君功德碑（妙遠寺）

田中本陣跡（旧東海道）

手洗石（稲毛神社）

写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

所在地	川崎区宮前町6-5（泉田二君功德碑）
問い合わせ	妙遠寺
TEL	044-222-7162
FAX	044-211-7164
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅より徒歩10分（泉田二君功德碑）



基礎情報

■江戸時代中期、22歳で川崎宿の本陣職・田中家の娘婿となった休愚は、45歳で田中家を相続、六郷川の渡船権を獲得し財政難にあえぐ川崎宿を見事再建した。大著『民間省要』が八代将軍吉宗に認められ、幕府の治水事業に大きな貢献を果たす。小泉次大夫による完成の後、すでに110年余りが経過していた二ヶ領用水の大改修工事や、多摩川下流の築堤工事などを完遂した。
 ■一介の農民から町人、武士、さらに三万石支配の代官職にまで立身出世を果たした異色の民政家、地方(ちかた)巧者として名高い。今日の川崎の発展の礎を築いた最大の功労者のひとりに数えられる。

由来・エピソード

■寛文2年(1662)3月、多摩郡平沢村（現・東京都あきる野市）の窪島家に生まれた休愚は、幼少より向学心旺盛、父祖伝来の農業の傍ら、絹仲買の商いも兼業し諸国行脚によって多くの生きた学問を体得して育った。小向村（現・幸区）の田中源左衛門家に入りした縁から、同族の川崎宿本陣職・田中兵庫の養子に迎えられた。宝永4年(1707)45歳で家督を継いだ休愚に関東郡代・伊奈半左衛門忠順が注目した。疲弊困窮していた川崎宿の惨状に頭を痛めていた半左衛門から対策の要請を受けた休愚は、「六郷の渡船権を川崎宿で請け負い収益を伝馬役の財源に充てる」という画期的な再建策を上申。半左衛門は直ちに幕府へ請負願を提出し、また本陣職に加え問屋役、名主の三役を休愚に兼任させた。渡船権請負は実現し、川崎宿に復興と繁栄をもたらす基が築かれた。
 ■正徳元年(1711)江戸に遊学に向かった休愚は、儒学者・荻生徂徠や将軍側近・成島道筑に師事した。そして若き日の農村生活と諸国行脚の実体験、修得した学識、名主としての経験を土台に、十七巻におよぶ民政の意見書『民間省要』を享保6年(1720)に書き上げた。年貢・治水・農民生活など多岐にわたる具体的な提言が記された壮大な警世の書は、将軍吉宗へと献上され「享保改革」など幕政にも大きく寄与した。河川管理の責任者「川除御普請御用」に登用された休愚は、荒川や多摩川下流の大丸用水、二ヶ領・六郷用水の大改修工事など多くの治水事業で成功をおさめた。そして宝永の富士山噴火災害に苦しむ酒匂川においても、難工事を克服した休愚を、幕府は高く評価し、多摩・埼玉二郡三万石代官、二十人扶持、支配勘定格に抜擢したのである。
 ■引き続いての多摩川最下流、旭町から大師河原までの堤防改修を終え、享保14年(1729)12月、休愚は江戸の役所で没した。享年67歳。この川崎宿地域で堤防高を2.4mもかさ上げた堤防補強工事において、現在の連続堤の基礎が完成したとみられている。休愚の治水工法は、関東流や紀州流という当時主流の工法には見られない要素が多く、休愚をして「多摩川流」という独自の河川土木技術を起こしたともいわれ、後のわが国の河川土木技術の発展に極めて大きな影響を与えたと評価されている。

補足・その他

■二ヶ領用水の改修直後には、3年間かけての川崎地内の石橋架設工事にも着手。小土呂橋も享保11年(1726)に木橋から石橋へと改修された。この16年後の洪水後に再度架け替えられた石橋が、現在稲毛神社に残る小土呂橋遺構である。
 ■妙遠寺境内には、小泉次大夫と田中休愚の二人の偉業を讃えた「泉田二君功德碑」が置かれ、稲毛神社には休愚の没後、冥福を祈念して一族と手代衆によって奉納された手洗石がある（市の重要歴史記念物）。菩提寺は多摩川の堤防の傍らに位置する田中山妙光寺（幸区）。田中家代々の墓とともに、休愚の江戸遊学の際に代官職を継いだ子の休蔵による碑文や灯籠などが並んでいる。

関連シート

- (1-1)川崎宿
- (1-6)田中本陣跡
- (1-16)稲毛神社 手洗石
- (2-7)小土呂橋の親柱(擬宝珠)
- (3-1)妙遠寺・泉田二君功德碑
- (5-1)六郷の渡し・明治天皇の碑
- (31-1)小泉次大夫